

会員が主役の支部活動をすすめてみましょう

さかいわ支部ニュース

さかいわ 坂井輪 仲間の輪

2021年5月 NO.180

さかいわ支部長 渡辺 豊（小新西）
新潟勤労者医療協会 坂井輪総支部

臯月 瓜田不納履 李下不正冠



今月も陣屋です。安政4年（1857）9月長岡藩主牧野忠雅の老中としての精勤を賞し、長岡藩領と幕府領の村替えを幕府が約束。ようやく文久2年（1862）10月、長岡藩の小針、寺尾などの9村を幕府領へ。長岡藩には刈羽郡小国郷の19村が与えられました。文久元年（1861）に越後の幕府領のうちから、魚沼、岩船、蒲原郡など5万石が会津領となりました。その後の村替えで、文久2年に幕府領になった小針、寺尾などの9村は文久3年（1863）に会津領になりました。会津藩はこれらの村々を支配するために、陣屋を置きました。写真左が蒲原郡福岡村（旧水原町）にあった会津藩の陣屋跡です。短期間だった為、痕跡はありません。

元治元年（1864）2月会津藩主松平容保は長年の京都守護の功績により近江、和泉、越後の国で5万石を加増されます。越後では赤塚周辺の5000石が会津藩領となりました。その結果、5割も増えた越後の支配地を統治するために、慶応3年（1867）6月に代官陣屋を福岡村から小阿賀と信濃川が合流する写真右の酒屋村へ移転しました。翌年9月には明治となるあわただしい時代です。短かった酒屋村の代官陣屋跡も痕跡はなく、石碑一つあるだけです。

表題は「瓜畑の中で靴を履かない 李（すもも）の樹の下で手を上げて冠を直さない」です。偉い人は初めから疑われるようなことはしないとの意味です。ある国の首相のご子息の事が話題になったので書いてみました。今年は中国の古典をひもといています。

※ さかいわ支部では予定した支部総会を現在のコロナ禍の状態では開催できないと判断し、今年も中止とし、前年度の運営委員で運営します。尚、支部の運営に協力できる方は是非お申し出下さい ※

裏面に民医連の月刊誌「いつでも元気」の記事「お金をかけない健康法」を転載しました。皆さん「いつでも元気」誌を読んでみませんか。見本誌は渡辺か友の会事務局へ。